

埼玉県議会議員

# 深谷けんじ

2021年 秋・冬 第10号



## 徹底して医療現場へ コロナ対応 意見交換35回

9月 29日 埼玉医科大学総合医療センター 岡秀昭教授(感染症専門医)と意見交換

## 2021

9月 16日 第5波で逼迫した川越市保健所を視察し、自宅療養者への対応などITを活用した体制強化について意見交換。



8月 11日 感染拡大により逼迫する埼玉医科大学総合医療センターのコロナ病床を視察。最前線で闘う医療スタッフに感謝の思いを伝えるとともに、同センターが実施する「抗体カクテル療法」の推進について、堤晴彦病院長と意見交換。



3月 24日 同センターに完成した仮設専用医療施設を矢倉かつお参議院議員と視察。完成が3月となる医療機関は、国の緊急支援の対象外に。矢倉氏が国会で取り上げ、田村厚労大臣(当時)から一転「補助対象としていく」との答弁を引き出す。



3月 15日 同センターにて、医療従事者へのワクチン接種の状況を視察。堤晴彦病院長と、ワクチン接種の加速化や、医療体制の強化について意見交換。



## 2020

12月 22日 埼玉医科大学総合医療センターに建設中の仮設専用医療施設を視察。病床確保のために、県内8か所、計176床分の建設を推進。委員会で医療スタッフの確保等、支援を求める。



9月 23日 同センターを西田実仁、秋野公造の両参議院議員、西山淳次県議会議員と視察。意見交換で、医療現場の要望や課題に国・県のネットワークを生かして取り組むことを確認。



7月 21日 同センターでコロナ病床確保のため工事中の現場を視察。病床改修費は当初補助対象外に。支援の必要性を委員会で取り上げ、改修費への補助が決定。



4月 28日 同センターのコロナ専用病棟を視察。医療機関へのさらなる支援の必要性を委員会で訴え、空床補償費の増額等、支援の拡充が実現。



# 「トレーナー派遣事業」でコロナ病床拡大 18医療機関に派遣、新たに計50床確保へ

トレーナー派遣事業は、埼玉医科大学総合医療センターの感染症専門医 岡秀昭教授の発案で、**深谷けんじ**が県に提案し実現した事業です。

本事業は、コロナ患者の新規受け入れを検討している医療機関等に感染症専門医や認定看護師をトレーナーとして派遣し、病棟のゾーンニングや治療法、看護師のメンタルヘルスケアなどについて助言・指導するものです。受講側の医療機関からは、「患者の受け入れにあたり不安が解消した」といった声が県に寄せられ、大きな効果が生まれています。

現在、すでにコロナ病床を確保して患者対応を行っている医療機関からも、より専門的な助言等を求めた派遣要請があるなど、医療の質の向上にも寄与しています。本事業をさらに活用するとともに、トレーナーが所属する医療機関における受入れ研修も検討



▲9月29日 岡秀昭教授と意見交換

を進めていきます。

岡秀昭教授とは定期的に意見交換を続けており、9月29日には、ワクチン接種の効果と抗体カクテル療法の実施状況など、重症化を予防するための対策について貴重なご助言をいただきました。最前線で闘う医療従事者への支援について要望もありました。引き続き、課題解決へ全力で取り組んでいきます。

## 県、トレーナー派遣

### 受け入れ病床拡大へ 検討医療機関に

**新型コロナウイルス**

感染患者の受け入れ病床を拡大しようと、県は新たに受け入れを考えている医療機関などに感染症専門医らを派遣し、助言・指導する「トレーナー派遣事業」を5月から始めた。これまで5病院に派遣され、計14床の拡大につ

なかつた。21日の県議会定例会で、深谷顕史議員（公明）の質問に答えた。

派遣対象は、これまでコロナ患者を受け入れていなかった医療機関の他、中等症患者は受け入れているものの重症患者の診療実績がない医療機関など。

トレーナーとして派遣されるのは、これまで

でコロナ診療を担ってきた医師や看護師で、治療法や感染防護対策などを助言・指導する。一般質問への答弁では、近頃の病院にも派遣することを明らかにした。今後は、新規受け入れを検討している医療機関の職員をトレーナーの医療機関に研修させることも検討するとのこと。

厚生労働省は3月、感染再拡大に備えて「今冬の最大感染者数の2倍」を例に、医療体制を強化するよう都道府県に通知。県はピーク時の入院患者数を1376人と見込み、急増時は最大1667床（うち重症用201床）を確保する方針を示した。「第3波」に襲われた3月末までに県は1509床を確保し、当初の目標である1400床を上回ったが、重症用は155床で目標に届かなかった。

【鷲頭彰子】

▲2021年6月23日付毎日新聞

## 令和3年 9月定例会 新型コロナ「第6波」への備え 医療提供体制を整備・強化



大野知事へ令和4年度予算要望書を提出 深谷けんじ（一番右）

埼玉県議会9月定例会は10月14日、新型コロナウイルス感染症対策として、医療提供体制整備や自宅・宿泊療養体制整備など1516億3493万円の補正予算案等、計57議案が可決され閉会しました。議員の共同提案による意見書案13件、決議案2件も全会一致で可決されました。

また同14日、公明党県議団として取りまとめた新型コロナ対策や福祉分野などの政策要望をはじめ、県内各団体や地域から寄せられた声を盛り込んだ「令和4年度要望書」を大野知事に提出。県政に反映できるように、全力で取り組んでまいります。

## 声をカタチに 小さな声を、聴く力。通学路の安全対策に全力



設置前



設置後

県道川越生線「東洋大学南側交差点」付近にグリーンベルト設置



設置後



県道川越新座線「ローソン木野目六角店」様付近に横断歩道の設置

**深谷けんじ プロフィール**  
1974(昭和49年)年9月3日生まれ 47歳  
川越市出身  
東京農業大学第三高等学校卒  
創価大学文学部社会学科卒  
公明党県企業局長・青年局次長

産業労働企業委員会 委員  
危機管理・大規模災害特別委員会 委員  
新型コロナウイルス感染症対策特別委員会 委員

深谷けんじホームページ



県政に関するご意見・ご要望をお寄せください

**埼玉県庁 公明党控室**  
〒330-0063  
埼玉県さいたま市浦和区高砂3-15-1  
TEL048-822-9606  
FAX048-822-9408

**自宅事務所**  
〒350-0015  
埼玉県川越市今泉88-14  
TEL049-236-2566  
FAX048-611-7393